

資 料 提 供	
令和元年7月11日	
所 属 (担当)	鳥取県立米子工業高等学校 (教頭・小原 ^{おはら})
電 話	0 8 5 9 - 2 2 - 9 2 1 1

【米工】生徒会がPTAの支援のもと、「はるかのひまわり絆プロジェクト」の活動に参加します！！

『はるかのひまわり』の由来は次のとおり（はるかのひまわり絆プロジェクトのホームページから引用）です。

平成7年1月17日の明け方、5時46分、大きな地震が襲いました。木造の建物は、その揺れでひとたまりもなく崩れてしまい、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされていました。はるかちゃんがガレキの下から発見されたのは、地震発生から7時間後でした。震災から半年後、かつてはるかちゃんの家があった空き地、はるかちゃんの遺体を発見した場所。驚いたことに、そこに無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花をこう呼びました、『はるかのひまわり』。何も無くなってしまった町の空に、次々に咲いた大輪の花はたくさんの人を励まし勇気付けました。

『はるかのひまわり』を育て採取した種を配布する過程で由来を伝え、災害の悲惨さと共に命の尊さを再考する機会とする事で、「人の尊厳」と「人との関わりの大切さ」を知る感性豊かな地域社会を醸成する事を目的とする活動理念に基づき、本校生徒会はPTAの支援のもと、この度プロジェクトの活動に参加することにしました。

については、下記のとおり『はるかのひまわり』の種まき作業を行い、活動をスタートさせますのでお知らせします。

この取組をとおして、命の大切さ、人との絆の大切さを皆が考え、防災に対する意識の向上にもつなげることができるのではと期待しています。

記

1 日 時

令和元年7月17日（水）午前11時50分作業開始

2 会 場

米子工業高等学校 正門付近
(〒683-0052 米子市博労町四丁目220番地)

3 参加者

生徒及びPTA関係者